



フォーバル、桐生信用金庫と包括連携協定を締結

～群馬県内の金融機関で初となる、中小企業の収益力改善と賃上げを支援するビジネスマッチング契約～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島将典、以下「フォーバル」）は、桐生信用金庫（群馬県桐生市、理事長：増山馨介）と、地域企業の経営課題解決を目的とした包括連携協定を締結しました。



（左から）桐生信用金庫 常務理事 生方隆志様、株式会社フォーバル 常務執行役員 関東・甲信越カンパニー長 小林功典

協定の経緯と目的

近年、中小企業を取り巻く経営環境は大きく変化しており、人材不足や事業承継への対応に加え、生産性向上やDX推進による経営基盤の強化が重要な課題となっています。また、経営課題が多様化・複雑化する中、中小企業の持続的な成長を支える伴走型支援の重要性が高まっています。

このような背景のもと、フォーバルと桐生信用金庫は包括連携協定を締結しました。

両者は、それぞれが培ってきた知見やネットワークを活用し、セミナー・勉強会の開催、人材育成、DX推進支援、産官学連携の促進などを通じて、多様化する地域企業の経営課題解決に取り組みます。加えて、本協定に基づくビジネスマッチング契約により、フォーバルの経営支援サービスやDX支援サービスの活用を促進し、群馬県内の金融機関との取り組みとして初めて、中小企業の収益力改善と持続的な賃上げの実現を支援します。これらの取り組みを通じて、中小企業の成長と企業価値の向上を後押しするとともに、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

協定の内容

フォーバルと桐生信用金庫は、次の事項について連携し協力してまいります。

- （１）セミナー・勉強会等の開催に関すること
- （２）地域の産官学連携の取り組みに関すること
- （３）地域の人材育成（企業ドクター）の取り組みに関すること
- （４）統計情報の共有に関すること
- （５）桐生信用金庫がフォーバルに対し、自己の顧客を紹介すること
- （６）地域企業の持続可能な経営に向けた、収益力改善・賃上げの取り組みに関すること
- （７）その他、地域企業の課題解決に関すること

桐生信用金庫 常務理事 生方 隆志様 コメント

株式会社フォーバル様との包括連携協定を締結し、新たな協働の一步を踏み出せることを心より嬉しく存じます。

当金庫は本協定により、株式会社フォーバル様が持つ高度な経営支援ノウハウを活用し、地域企業の抱える経営課題に深く寄り添うことで、企業の持続可能な成長を後押ししてまいります。

本協定を契機に、産官学金をはじめとする地域のネットワークを最大限に活かし、地域経済のインフラを支えるパートナーとして、皆様の期待に応える成果を創出していく所存です。

株式会社フォーバル 常務執行役員 関東・甲信越カンパニー長 小林 功典 コメント

このたび、地域経済の発展に長年貢献されてきた桐生信用金庫様と包括連携協定を締結できますことを大変光栄に思います。中小企業が直面するさまざまな課題の解決には、地域に根差した金融機関と民間企業が連携し、それぞれの強みを生かした支援を行うことが重要であると考えております。また、経営課題を可視化し、その解決まで伴走する「企業ドクター」の役割は、ますます必要性が高まっています。

本協定を通じて桐生信用金庫様との連携を強化し、企業ドクターによる持続可能な黒字化と賃上げの実現を支援するとともに、地域企業の成長を後押しし、地域経済のさらなる発展に貢献してまいります。

株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 将典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>